

県民の友

発行/和歌山県 知事公室 広報公聴課 〒640 和歌山市小松原通1の1 ☎ 0734(32)4111 No.577

昭和61年
9
月号



湯かげん、

どうですか

ミニ・デイサービス
スタート

寝たきりのお年寄りに老人ホームでお風呂に入ってもらおう「ミニ・デイサービス」が八月からスタートしました。

「外の景色を見ると気が晴れる」

「血の循環がよくなって関節も伸びた」

「話し相手ができるし、食欲も出てきた」

「次が待ち遠しいわ」

最初の週からさっそく利用者があり、とても喜んでくれました。

ええ

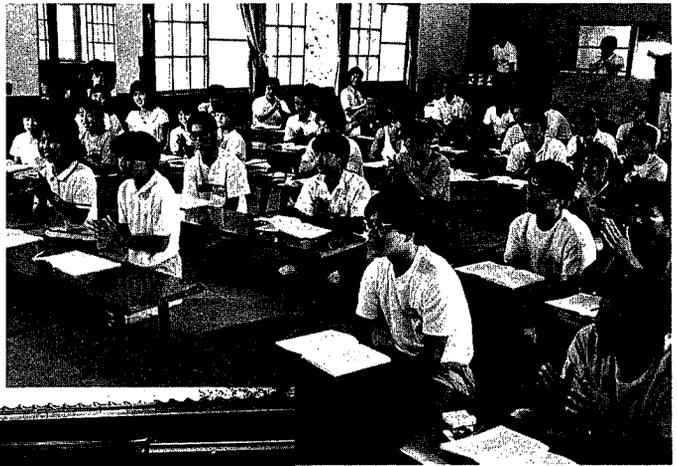
気持ちやよ

出会い、友情、感動

紀州若者塾開塾

若者よ熱き心もてふるさとを拓け—— 第一回紀州若者塾が八月一日から四日まで伊都郡花園村の新子ふるさと村で開講されました。

県内各地から集まった四十人の青年は講義に、討論に、そして仲間づくりに、楽しく、真剣に取り組みました。これはある参加者の日記です。



廃校を改装した研修施設。看板に注目

八月一日(金) 晴れ一時雨

正午、急カーブの山道を揺れながらバスは期待に胸一杯の私たちを乗せて花園村に到着した。

開塾式で塾長である仮谷知事から「この塾が成功するかどうかはみなさんにかかっている。がんばってほしい」とのことばがあった。オリエンテーションでは全員が一人ずつ前へ出て自己紹介をする。会社員、農業、自営業、公務員、教師など職業はさまざま。平均年齢を計算したら二十四歳だった。三時、講義が始まった。講師は社会経済研究所の山本好男常務。



「二十一世紀の和歌山」というテーマで、みんな熱心に聞いていた。地域ごとに分かれてのディスカッションでは他の人の考えを聞くことができてよかった。

夕食後は仲間づくりゲーム。指導してくださった宮崎文隆さんは私たちの気分を大いに盛り上げてくれた。四つの班ごとにエールを決めて大声で叫んだとき、来てよかったなと感じ始めていた。

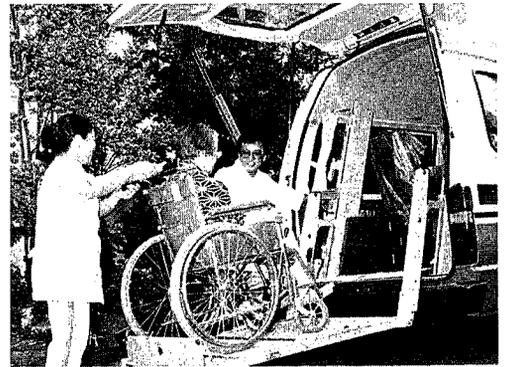
八月二日(土) 晴れ

起床六時。七時から朝のつどい内容はすべて塾生が考えるのでフオークダンスやタオル体操、馬とびなどいろいろ出てくる。その後、各班から一人ずつ一分間のスピーチ。今日は私がすることになったので、きのう感じたことなどを話した。

食事の配ぜん、後片付けの当番も自分たちです。片付けをさせて大急ぎで講義へ。

村田簿積先生の「差別のない社会を築く」という講義は大変よかった。今までも何回か同和研修を受けたことがあるが、その中でいちばん心にせまるものがあった。午後の講義では若者塾に参加してくれた国際協力事業団の東南アジア研修生の方七人と直接話せる機会があつて感動した。もっとも自分の語学力のなさには……自己嫌悪。「今、地球人として」というテーマだったが、各国の方と話

ミニ・デイサービス実施中



ミニ・デイサービスは現在、県内六カ所の特別養護老人ホームで実施しています。毎週決まった日にホームから車で自宅までお迎えに。入浴が可能か血圧測定などを事前に行い、ホームでは広い浴槽でゆっくり温まってもらえます。費用はその家庭の所得によって異なりますが、だいたい八百五十円です。くわしくは次の特別養護老人ホームへお問い合わせください。

喜成会	和歌山市北野128	☎(0734)62-3033	毎週月曜日
親和園	杭の瀬255-2	☎(0734)73-7500	毎週火曜日
みどりが丘ホーム	和佐中213-1	☎(0734)77-4374	毎週火曜日
高陽園	那賀郡粉河町上田井1020	☎(0736)73-5881	毎週月曜日
愛光園	伊都郡かつらぎ町佐野1401-2	☎(07362)2-6057	毎週火曜日
はまゆう園	西牟婁郡すさみ町周参見2362-1	☎(0739)55-3484	毎週木曜日

紀州若者塾に参加して



有田市 見田 はるみ
人々とのふれあい、ぶつかりあい、出会いの中で快い刺激を受けた。特にアジアからの留学生との交流は強く印象に残っている。西洋文化中心の現在、もっと東洋について知りたいと思った。次回も別の形で参加したい。



すさみ町 堀谷 敏夫
県が主催ということで大きな期待はしていなかったのですが、参加してみると塾生の自主性が尊重され、自由な雰囲気を感じられました。紀州若者塾一期生として、今回の経験を生かして今後の青年活動、地域活動に積極的に取り組みたいと思います。

すことにより自然と考えさせられることが多かった。



話せる人も話せない人も、英語でコミュニケーション



野外料理コンテストの審査。必死のPR

班別に競い合う「野外料理コンテスト」は私がコック長を担当したので大変忙しかった。各班それぞれ工夫をこらしており、味もよかったです。その後、片付け、班別会議などで就寝は一時。

八月三日(日)

晴れ

午前中の「郷土をつくる仲間たち」が最後の講義となった。講師の宮崎さんは広島県にある「過疎を逆手にとる会」の事務局長とし

て大いに活躍されている方で、やる気さえあれば何でもできるというのを教えてくれた。特別参加として各地域で活躍されている方も話をしてくださった。みんな素晴らしい人だった。自分にはどれだけできるかは別として、私もやろうと強い意欲を持ったことだけは確かなことである。今の和歌山県をよくするために、若者がやらなければだれができるのだろうか。がんばっていききたい。

「さよならパーティー」は最高だった。大きなキャンプファイアーに感激。宮崎さんの指導でゲームを楽しみ、各班で趣向をこらした出しものが続々。キャンプファイアーの炎が大きく燃え上がり、私たちの心も気付けぬうちに大きく燃えていた。



18歳から38歳まで、参加者感激の瞬間

やがて炎も小さくなってきたころ、みんな円になり、寝ころんで星空を見上げた。静かに自分を見

つめ直す。するといつもの自分ごとでもちっぽけな人間に見えて仕方なかった。そして全員が三日間の感想をひとことずつ言っていく。それぞれ最高に燃えた一瞬。私も熱くなった。この気持ちは忘れずにいたい。これからずっと何事にも一生懸命できるように。班ごとの反省会が終わっても仲間といろいろ話した。眠ると時間

同和連載

人権学習を終えて

印南町切目川中学校三年 清水かおり

私たちは、一、二、三年生と人権学習をしてきたわけですが、そのおかげで、私は人の苦労というものを身にしみて感じるようになりました。そして、今まで知らなかったことを学ぶことができて、とてもよかったです。

三年生では、いろいろな資料と映画で同和問題について深く勉強しました。「川の流れる母の村」という映画は、特に今の同和問題についてこの映画に出てくる女性は、お母さんが同和地区出身で、自分もその血をひいていることにひげ目を感じていました。それは、昔の部落のことしか知らなかったからです。昔の部落というのは、家は長屋でとてもせまく、今にも倒れそうな粗末さで、働く場所がないために家計はとても苦しいものでした。だから子供は、学校へ行くこともできずに、働いて家を守っていかねばなりません。口では言いあらわせないような差別

がもったいない。今日は最高の一日だった。

八月四日(月)

雨

閉塾式。修了証として記念色紙を一人ずついたたく。知事さんの直筆で「若者よ熱き心もてふるさとを拓け」と書かれていた。私たちを最高に盛り上げてくれた宮崎さんを見送る。「燃えてる胸の小

をうけ、ただそれにはたえるしかなかったのです。でも、昔の人々は、それを自分たちの力で改善することによってしょうけんめいになったのです。部落の環境をよくして少しでも安定した生活になるよう、何回も何回も話し合いをもち、一歩一歩前進しながら、今日までできました。その成果はずいぶんものです。倒れそうだった家々は立派な家になり、働くことができるようになって家計も安定しました。このことを知らなかった女性は、自分が部落だということにひげ目を感じていたのだと思います。でも、このことを知ったから、もうひげ目を感じることはなくなりました。昔にくらべれば、本当に見違えるほどの変化だと思えます。

しかし、まだ問題は残っています。それは心の中の差別が結婚という問題をつくっているのだと思います。部落の人と一般地区の人が結婚すると、いろいろな問題がおこってくるのです。心のどこかに、差別意識が残っているのです。これを、

さな炎 かざして明日へ私のこの道を 友よ光をありがとう 友よいつかまた会おう」歌いつつ胸にこみあげてくるものを感じた。二台のバスに分乗して出発。握手、握手のお別れ。きつとまたみんなが集まろう、そう決めて別れた。本当に素晴らしい四日間。出会い、友情、感動。この若者塾に参加してほんとうによかった。

なくしていくことが、大切なことではないかと思えます。心の中の差別をなくしてこそ、本当に明るい世界がくるのじゃないかと思えます。この問題を解決するのは、容易なことではないでしょう。が、昔の人々が差別をなくするために一歩一歩歩んできたように、私たちが一人一人正しい考えをもつように努力すれば道は必ずひらけると思えます。

私たちの住んでいる世の中は、問題がたくさんあります。でも、昔にくらべれば何十倍も何百倍も幸せな世の中だと思えます。人というのは「覚える動物であり、忘れる動物だ」という言葉を思い出します。覚えれば、前に覚えていたことを忘れるという意味ですが、私は忘れてはならないことだと思っています。その一つが「昔の人々の苦労」だと思います。私は人権学習を通じていろいろなことを学びました。その中で私が一番強く感じたのはこのことです。差別、差別と身を切られるほどの苦しみの中から、それを越えることのできた人々の苦労であり努力です。このことを、忘れずに生きていきたいと思えます。

音楽・演劇等

開幕フェスティバル

9月4日 午後6時30分
県民文化会館大ホール
日本音楽集団、和歌山児童合唱団
県内コーラスグループ

流友会謡曲大会

9月13日 午前11時
県民文化会館小ホール
謡曲、仕舞、鼓、太鼓など

移動芸術祭・同巡回公演

○交響楽公演 9月26日 午後6時30分
紀南文化会館大ホール
A席三千円、B席二千五百円、C席千円、ベントーベン「エグモン」序曲ほか
○歌舞伎公演 11月17日 午前11時30分 午後5時
御坊市民文化会館大ホール A席四千円、B席三千円、C席千五百円
京鹿子娘道成寺ほか
○バレエ公演 11月19日 午後6時
県民文化会館大ホール
S席三千八百円、A席二千八百円、B席千五百円
チャイコフスキー「白鳥の湖」ほか

母と子の名作劇場

○フナト、木からおりてこい
▽9月30日 野上町中央公民館
10月1日 貴志川町体育館
▽10月2日 日高町農業環境改善センター、いづれも午後1時30分
劇団「青年座」公演 水上勉 作
○走れメロス
▽10月24日 紀南文化会館大ホール
▽10月25日 県民文化会館大ホール、いづれも午後2時30分
劇団「俳協」公演 太宰治 作
県民文化会館で観賞ご希望の方は往復ハガキに希望人数(一枚で三人まで)住所、氏名を書き、10月9日までに県庁文化振興課へお

邦楽の粋を求めて

10月17日 午後6時30分
県民文化会館小ホール

8ミリ映画祭

10月18日 午後6時30分
県民文化会館小ホール

民謡の集い

10月26日 午後0時30分
紀南文化会館小ホール

奇術の祭典

10月26日 午後1時30分
県民文化会館大ホール

現代邦楽研究会邦楽演奏会

11月1日 午後6時30分
県民文化会館小ホール 入場料千円

和歌山県吹奏楽祭

11月3日 午後1時
県民文化会館大ホール 入場料 前売り三百円、当日四百五十円

県民合唱祭

11月3日 午前10時
御坊市民文化会館大ホール

映画祭

▽11月9日 午後6時
新宮地域職業訓練センター
▽11月15日 午後6時
県民文化会館小ホール
▽11月17日 午後6時30分
田辺市トキワ座 入場料 前売り七百円、当日八百円

ポール・モーリア ジャパンツアー'86

11月21日 午後6時30分
県民文化会館大ホール S席五千円、A席四千五百円

邦楽家協会邦楽演奏会

11月23日 午前11時
県民文化会館小ホール 入場料千円

和歌山県小中学校音楽会

11月24日 正午
和歌山市民文化会館大ホール

能楽観賞会

11月29日 午後1時
県民文化会館小ホール 入場料三千円

和歌山県少年少女合唱団合同演奏会

11月30日 午後1時30分
和歌山市民文化会館大ホール

「天地創造」演奏会

12月20日 午後6時
和歌山市民文化会館小ホール 入場料 大人千円、小人五百円

ベントーベン第九交響曲演奏会

12月21日 午後3時(予定)
県民文化会館大ホール S席四千円、A席三千円(予定)

おとうさん、おかあさんの歌声

県民合唱祭に向けて



県民合唱祭は今年第十九回を迎えます。県民文化祭に第一回から参加している数少ない団体の一つです。県下の学生、主婦、職場などさまざまなグループが練習の成果を発表します。

そのうちのひとつ、和歌山市の小学校のPTAのOBで構成されている合唱団の練習を見学しました。週一回、市内の小学校で二時間余り練習を続けているとのこと。「合唱は全く初めてという人も多く、最初は苦労しましたが、ようやく人前に出ても恥ずかしくないようになりました」と指導者の方。今年の二月に初舞台を踏み、県民文化祭は四回めの舞台になります。発表の日に向けて、おとうさん、おかあさんの歌声はますます輝きを増していくことでしょう。

曇下がりの木陰に歌声が響く

展覧会

民芸展

9月7日～10月5日 県民文化会館ロビー

俳画展

9月18日～22日 県立近代美術館
9月19日～21日 和歌山市民会館展示室

花のきらめき展

9月24日～29日 県立近代美術館

県いけばな協会いけばな展

9月24日～29日 県立近代美術館

総合美術展

10月8日～12日 和歌山市民会館展示室

特別展「祇園南海」

10月25日～11月24日 県立博物館
入場料 一般五百円、高年生三百円 小中生百円

移動博物館

「紀州ゆかりの古美術」
11月1日～3日 紀南文化会館一階展示ホール

第19回県民文化祭



三人まで、住所、氏名を書き、10月9日までに県庁文化振興課へお申し込みください。定員二千八、先着順

ミュージカル「アニー」を聴く

10月17日 午後6時30分
県民文化会館大ホール
S席三千八百円、A席二千八百円
B席千五百円
桜田淳子、寺泉憲、多々良純ほか



奇術大集合!

和歌山奇術愛好会



「奇術の祭典」に向け、練習に熱がはい

設立は昭和十年といいますが五十年余の伝統をもつ会です。県民文化祭には第三回から参加しています。会員は現在約三十人。
月二回、和歌山市内で行われる例会には、和歌山市はもとより下津町など県下各地から会員が集まります。先生を囲んで和気あいやいと、そしてとても熱心に練習が続きます。
小学校四年の川端敦史君は奇術歴一年二か月。大人に混じってなかなか堂々としたものです。カードやハンカチなど手先を使うものから、大道具の必要なものまで奇術もさまざま。それらをいかに組み合わせると一つのショーとするか。それぞれの技術とともにチームワークも要求されます。
県民文化祭本番に向けて練習にますます熱がはいることでしょう。

伸ばそう紀の国!

おこそう文化!

(前号の応募の中から、田辺市江川町、福田敦子さんの作品に決まりました)

入場料の記載のないものは無料です。

詳しい内容は県庁文化振興課へ
〒640 和歌山市小松原通二丁目
☎(0734)3214111

8ミリ映画を大スクリーンで

和歌山県小型映画連盟



ただいま編集編集中/編集、音入れもすべて自分で

幅一センチ余りのフィルムに撮影者の思いがいつぱいつまっています。和歌山県小型映画連盟は会員約二百五十人。県下各地でつくられている九つのクラブから成ります。年一回の例会は当番制で、当番クラブのある地域で催しなどがあるとき、撮影会を兼ねて開かれます。
最初は子どもの成長記録をと始め、やがて旅行にカメラをかかえていったり、地元祭に出かけたりとだんだん8ミリが手離せなくなる人が多いようです。
県民文化祭では県民文化会館小ホールの舞台いっぱい映されます。8ミリといえどもなかなかの迫力。たんせいこめてつくられた作品をちよっとした映画館気分楽しんでみましょう。

県いけばな協会 いけばな展

9月24日、29日 県立近代美術館

勤 展

▽9月25日、28日 県勤労福祉会館
▽10月2日、5日 新宮地域職業訓練センター

県華道連盟 いけばな展

10月3日、5日 和歌山市民会館市民ホール、展示室

特別展「珠九とその周辺」

10月4日、27日 県立近代美術館
入場料 大人五百円、高次生四百円、小中生百五十円

特別展「紀北の遺跡」展

10月5日、11月24日 紀伊風土記の丘 松下記念資料館 入場料 一般三百円、高次生二百円、小中生百円

講座・文芸・茶会等

ふるさと歴史講座

9月6日 午後1時30分、中辺路町 コミュニティセンター
「熊野古道と王子社」和歌山大学教授 小山靖憲

宝くじ文化講演会

▽9月11日 午後6時30分、紀南文化会館小ホール
▽9月12日 午後6時30分 県民文化会館小ホール
「質別教育法」教育評論家 阿部進

県民文化講座「きのくに歴史への招待、歴史と歴史文学」

第一回 9月13日 講師 作家 神坂次郎

第二回 10月18日 講師 作家 津本陽

第三回 11月8日 講師 和歌山大学教授 小山靖憲

第四回 11月29日 講師 和歌山大学教授 安藤精一

いずれも午後2時、県民文化会館3階特設集會室 テキスト代、通信費として千五百円、定員200人 先着順

11月1日、3日 紀南文化会館一階展示ホール



南紀男山焼 展

○県立近代美術館 11月13日、17日 生け花、彫塑、書 11月20日、24日 日本画、工芸、写真 11月27日、12月1日 洋画
○新宮地域職業訓練センター 12月13日、15日 各部門選抜(生け花を除く)

盆栽 展

11月22日、24日 県民文化会館3階特設集會室

優秀写真作品展

12月18日、22日 県立近代美術館

裏千家淡交茶会

10月12日 午前10時、海南市温山荘 入場料 千円(温山荘入場料を含む)

文化財愛護シンポジウム 「和歌山県の文化財を考える」

10月25日 午前10時、紀の国会館大会議室

和歌山県歌人クラブ秋季大会

10月26日 午後1時、経済センター10階大ホール 会費 三百円

表千家同門会秋季茶会

10月26日 午前10時、県民文化会館4階中集會室和室

紀伊山脈行記記念俳句大会

11月2日 午後1時、県民文化会館大集會室 当日出句料 千円

先覚文化功労者顕彰

11月8日 午後2時 和歌山市役所14階集會室
表千家の元祖、川上白、植物学者、畔田翠山を顕彰

640 和歌山市小松原通1-1

(0734)32-4111

おしらせ



募集

県営住宅空き家入居補欠者

日消印有効) 送付先 県庁広報公聴課 作品の裏面にタイトル(説明)...

木曜教室受講生

テーマ 消費生活に関する衣食・住について 日時 10月16日~12月18日の毎木曜日...

Table with columns: 申込受付期間, 申込場所, 用紙配布場所, 申込期間, 団地名, 戸数, 種別

申込資格等くわしくは各土木事務所へ

ふるさとを写そう

いろいろな視点からふるさとを見た写真を募集します。応募資格 和歌山県内に住所のある方

サイズ カラー、白黒ともキャビネサイズ(サービスキャビネも可)以上四つ切りまで...

現地案内 9月7日~12月21日、毎日曜日と祝祭日

せせらぎ台宅地(貴志川町) 現地案内 9月21日~23日

くわしくは県住宅供給公社(0734)25-6885へ

スポーツ教室(後期)受講生募集

期間 昭和61年10月~62年3月 場所 県立体育館、県立武道館

9月はがん征圧月間

「守ろう健康 地域ぐるみでがん検診」 がんは早期発見、早期治療...

秋の全国交通安全運動 9月21日~30日

Table with columns: 対象, 教室名, 時間, 曜日, 定員



参加しよう

働くお母さんのこころ

日時 9月23日 午前11時~会場 県勤労福祉会館(プラザホール)

内容 講演、歌のつどい、他対象 県内に職場または住所を有する勤労婦人とその子ども(小学生以上)

申込 県庁労政課、各県事務所産課へ

第50回自然愛護アワコロシアク

日時 10月5日 午前10時15分~ 集合場所 大塔村豊原小学校跡地

コース 百間山溪谷8キロ 受付 当日午前9時15分

申込 住所、氏名、年齢、性別、利用交通機関をハガキに記入...

センター 内容 卓球(マット卓球、車いす卓球を含む)

参加料 無料 定員 50人 申込 9月16日までに最寄り福祉事務所へ

ごあんない

全身C・Tスキャナで診断開始 県立医科大学付属病院紀北分院では10月1日から全身C・Tスキャナでの診断を始めます

覚せい剤相談コーナー 活用を 覚せい剤を軽い気持ちで使用する...

少年の非行と家出防止に協力を 夏休みが終わった9月は少年の家出が最も多い時期です...

北方領土 根強い外交支える世論



身体障害者スポーツ教室

日時・会場 9月21日 午後1時~4時 田辺勤労者体育

おしらせ

催し

県民文化祭参加の催しは4、5面に掲載しました。

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

県高等学校総合芸術祭「邦楽部門」(県民文化祭参加)9月23日 小ホール 無料

県立近代美術館 ☎(0734)36-1331

▶県高等学校総合芸術祭「書道部門」(県民文化祭参加)9月11日~15日 ▶県書道協会展 9月18日~22日

紀南文化会館 ☎(0739)25-3033

▶第15回吹奏楽祭 9月21日 午後1時30分 大ホール 無料 ▶松竹新喜劇公演 9月23日 午後0時30分 午後5時 大ホール 入場料(特等)5,000円(1等)4,000円(2等)3,000円

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

植物趣味教室 秋の原色押花の作り方(仕上げ)9月21日 電話かハガキでセンターへ(先着順、無料)
植物公園秋のまつり 10月10日~12日 秋の山草展、洋ラン展、いけ花展、秋の原色押花展、花き植木展
「伊都地方の日」農林産物即売会 10月11日~12日
センター内紀州ふるさとの店前

お気軽にどうぞ

交通事故相談
場所 県庁交通事故相談所 東牟婁総合庁舎
〔常設相談〕月~土曜日
〔弁護士による相談〕毎月第1、3土曜日
受付 午前9時~10時
〔巡回相談〕▶西牟婁県事務所 9月16日 ▶伊都県事務所 9月24日 ▶日高県事務所 10月6日
※受付は午後3時まで。

県民相談
〔常設相談〕月~土曜日
場所 県民総合相談室、各県事務所
〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日
受付 午前中 場所 県民総合相談室
〔移動相談〕▶本宮町 山村開発センター 9月19日 ▶高野町 伏原会館 10月7日

行政書士試験
試験日・会場 10月26日 県立桐蔭高等学校
提出書類 受験願書(県庁地方課、各県事務所総務課で交付)、履歴書、受験資格を有することを証明する書面、写真
提出先 9月16日~10月4日(郵送の場合は10月4日の消印のあるものまで)に県庁地方課、各県事務所総務課へ
くわしくは提出先へ

救急の日
救急医療の正しい知識を身につけましょう。
救急車が必要とき119番救急車を呼ぶほどでないとき
①まずかかりつけの医師、急患センターへ
②そこで受診できないときは最寄りの消防本部が救急医療情報センター☎(0734)26-1199へ

ひったくり多発!
自転車の前かごにご用心
最近、和歌山市を中心にバイクや自転車に乗った女性を狙ったひったくり事件が多く発生しています。犯人は20~30歳くらいの男で、単車などに乗り、追い越しざまに前かごからハンドバッグをひたくりまわります。
○現金などは前かごに入れないようにしましょう
○被害にあつたらすぐ110番を

液化石油ガス(LPG)ガス用ガス漏れ警報器の悪質訪問販売にご注意を
最近、全国的に被害が頻発しています。検定に合格しない粗悪な警報器を高価な値段で販売する者がありますので注意してください。
不明な点は県庁消防防災課、各県事務所総務課へ

特別永住許可申請はお済みですか?
申請ができるのは、終戦前から引き続き日本に在留している朝鮮半島、台湾出身の方

献腎 愛と健康の贈りもの
慢性腎不全に悩む患者はあなたの善意をまっています。
腎移植推進月間
10月1日~31日
申し込み、問い合わせは和歌山県腎移植対策推進協議会☎(0734)31-0522

補聴器の使い方講習会と要約筆記(難聴者向け)ボランティア教室
○補聴器の使い方講習会 日時 10月4日 午後1時30分~3時30分 場所 御坊保健所
オーディオヘッドプロジェクターを使って説明します。
○要約筆記ボランティア教室

和歌山県社会福祉センターのご利用を
会議室、宿泊施設を低料金でご利用いただけます。講習会、研修会、講演会等にごどうぞ。
県社会福祉センターは ☎(0734)23-6325

中退金制度改正
中小企業退職金共済法が改正され、今年12月1日から新しい制度になります。
くわしくは県庁労働課、お近くの金融機関、中小企業退職金共済事業団の退職金相談コーナー☎(03)436-0151へ

各種特別給付金
次の戦傷妻、戦没妻、戦没父母等の給付金は9月30日で時効です。未請求の方は至急請求してください。
①特給国債へ号を償還済みの戦没者の妻
②戦傷妻特給国債へ号と号を償還済みで、夫である戦傷病者が昭和48年4月1日~昭和58年3月31日までに死亡し、昭和58年10月1日に公務扶助料等を受給していた方
③第二回特給国債と号を償還済みの戦傷病者の妻

商業統計調査にご協力を
今年10月1日現在で飲食店(バー、酒場等を除く)について調査します。なお、商業実態基本調査も実施しますので、ご協力をお願いします。

第五回特給国債へ号を償還済みの戦没者の父母
くわしくは県庁厚生援護課、県事務所民生課、市町村へ

防火気象講演会
日時・会場 9月18日 午後1時30分 県民文化会館小ホール
講師 京都大学助教授 中村重久氏他2人、その他、映画も上映。入場無料
参加希望の方は県庁消防防災課へ

試験
試験日 11月30日
会場 和歌山市内、新宮市内 願書受付 9月24日~30日
県庁消防防災課、各県事務所総務課で、受験手続等くわしくは受付先へ

融資など
中小企業の方に無利子で設備資金の約半額をお貸しします。
最高限度額 千五百万円
返済 一年以内の据え置き後 四年均等年賦償還
申込 9月17日午後1時~4時、西牟婁総合庁舎(田辺市) 9月18日午後1時~4時、伊都総合庁舎(橋本市) 9月19日午前10時~午後4時、県民文化会館(和歌山市)
くわしくは県庁商工企画課、各県事務所産業課、県中小企業総合指導所☎(0734)33-1500

職業訓練指導員資格試験
実施職種 自動車整備科
試験内容 実技、学科試験
試験日・会場(学科試験) 10月17日 和歌山技能センター(実技試験) 10月18日 県立和歌山高等技能学校
提出書類 受験申請書(県庁職業訓練課で交付)、履歴書、住民票、写真
提出先 9月8日~27日に県庁職業訓練課へ
くわしくは書類提出先へ

高圧ガス製造保安責任者及び販売主任者
試験日 11月30日
会場 和歌山市内、新宮市内 願書受付 9月24日~30日
県庁消防防災課、各県事務所総務課で、受験手続等くわしくは受付先へ

わかやま北南

遊歩道と林間広場完成

このほど、中辺路町近露に林間遊歩道と林間広場が完成しました。都市の住民に山村の良さを知ってもらおうと町が建設したものです。遊歩道は近露、小原地区の釣り堀から国民宿舎ちかつゆまで一キロ余り。真紅のアーチの歩道橋や標高四二五メートルの千城山など変化に富みます。

林間広場は国民宿舎ちかつゆの裏。キャンプ場やソフトボールなどのスポーツ広場として利用できます。

きれいな空気を吸って、緑の中を散策したりキャンプを楽しんだりしてはいかがでしょうか。

(中辺路町)



イワシまつり賑う

南部町で7月20日、第一回イワシまつりが盛大に開催されました。これは最近の食生活の変化によって需要の減ったイワシをできるだけ多くの人に食べてもらおうと行われたものです。

イワシには、たんぱく質やカルシウム、ビタミンなどが多く含まれ、栄養たっぷり。「イワシを食べて夏バテをふつとばそう」と集まった約500人は15種類の手づくり料理に舌つづみをうちました。

またこの日、イワシの良さを見直そうと「イワシ元年宣言」も行われました。(南部町)

畜産の大切さを学ぼう「まきばの一日」

7月29日、30日の両日、印南町にある県畜産育成公社の牧場で「まきばの一日」体験事業が行われ、各地から150人の小学生が参加しました。これはまきばの生活を実際に体験しながら、畜産が私たちの食生活にとっていかに大切なものかを学んでもらおうと開かれたものです。牛やヤギなどさわるのも初めてという子どもがほとんどでしたが、慣れてくると牧草を刈り取って牛に与えたり、中にはヤギといっしょに散歩する子もいて、みんな家畜との触れ合いを大いに楽しみました。(印南町)



山の家「やすけ」大繁盛

清水町では、都市との交流を盛んにし、地域の活性化を図ろうと町営民宿山の家「やすけ」を七月一日、オープンしました。オープンと同時に利用申し込みが殺到、この夏は予約客で満員の状態です。

この施設は県の補助金と町負担を合わせて約八百万円をかけ、旧家を修復改造した簡易宿泊所です。屋外ではキャンプや森林浴を楽しめ、また隣の高齢者生産活動センターでは、和紙、民芸品などの手づくり体験もできます。

(清水町)



企業誘致のパンフレット作成

「お待ちします!!あなたの会社を。」とのほど和歌山県那賀郡企業誘致推進協議会(事務局、那賀県事務所内)では、企業誘致のパンフレットを作成しました。

今後、県外事務所や農協、商工会などに置くほか、直接企業にも配付し、那賀郡をどんどんPRしていく予定です。

お待ちします!!
あなたの会社を。



西洋の手法で東洋を描く

川口軌外

シリーズ⑧

川口軌外は美術の世界で東洋と西洋を結びつけようと努力した洋画家です。

明治二十五年、現在の有田郡吉備町で生まれました。本名は孫太郎。幼いころ父の嘉右衛門が所蔵する多くの絵をながめていたうちだんだん絵の世界にひきつけられるようになりました。

明治三十九年、和歌山師範学校に入学しますが四十四年、中退して上京、太平洋画研究所や日本美術院洋画部で学びます。大正六年末、フランス、イタリア、スペインに留学、十二年に一度帰国しますが、翌年再びフランスに渡り、ルノアールに師事するなどして研さんを積み重ねます。そして、昭和四年帰国してまもなく、滞欧時代の作品を二科展に出品、日本の画壇にヨーロッパで学んだ新しい手法を紹介しました。この後、独立美術協会を創立するなど積極的に活動し、昭和二十七年以降はベニス・ビエンナーレ展などに出品、国際画壇にも進出しました。

彼はヨーロッパから帰国後、京都や奈良の古寺を巡り、東洋と西洋の美術を結びつけ、幻想的な色彩を生み出していきましました。また滯欧や湖畔など南紀の水や岩を好んで描いた彼の絵には、明るい紀州の風土が影響しているといわれます。

昭和三十八年には県立美術館で「川口軌外展」を開き、昭和四十一年に亡くなりました。



あとがき

明るい笑顔が見られました。ミニ・デイサービス取材して、すべてのお年寄りにこの笑顔の輪が広がるよう、がんばっていきたいと思います。

四、五面は「文化の秋」本番を真近にして、練習や製作に励むグループを訪ねました。真剣な中にもなごやかな場面も見られ、晴れの舞台での活躍が楽しみです。